

古河市及び中央小学校では、放射線への対応を以下のようにしています。

1. 放射線量率測定結果(単位：マイクロシーベルト/時)

平成 23 年 6 月 1 日

三和庁舎駐車場(0.086) 総和庁舎駐車場(0.086) 古河庁舎中庭(0.104)

(測定は、古河市環境安全部環境政策課で実施)

2. 市内小中学校 32 校の測定は、平成 23 年 5 月 30 日および 31 日に実施し、0.084 から 0.120 マイクロシーベルト/時の範囲であり、基準値以下の数値となっています。

※1. および 2. の測定結果は、文部科学省が「福島県内の学校の校舎・校庭等の利用判断における暫定的考え方について」で示している 3.8 マイクロシーベルト/時を十分に下回っており、健康に影響のあるレベルでないことがわかります。

なお、市内および各学校の測定値は古河市のホームページ^{※1}で公開し、今後定期的に測定し公開していく予定です。

^{※1}(<http://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/>)

3. プール水(清掃前)の放射性物質の測定の結果

平成 23 年 5 月 27 日市内小中学校 3 箇所の抽出検査を実施したところ、放射性ヨウ素、放射性セシウムとも「検出せず」でした。

今後プールの授業は、水道水(検査済み飲料水)を使用しますので、水泳学習を行うことは、問題ないと考えています。

4. 給食食材における安全確保について

学校給食における給食食材については、地産地消の推進を図るため、主に県内産(地元産)をはじめ安全な食材を使用しています。

県内各地域の農作物の安全性確保については、品目毎に定期的な測定を県が実施しており、検査結果を見ると規制値以下となっています。